

学生生活 No.251

Campus SEIJO

在学生・保証人に向けた
広報誌

特集
新入生歓迎号

成城大学を知ろう!

学長挨拶

学部長からのメッセージ

学友会を知ろう!

文化部連合を知ろう!

体育部連合会を知ろう!

イベントに参加しよう!

新入生が大学生活を
よりよく送るために

食堂・売店・施設 information

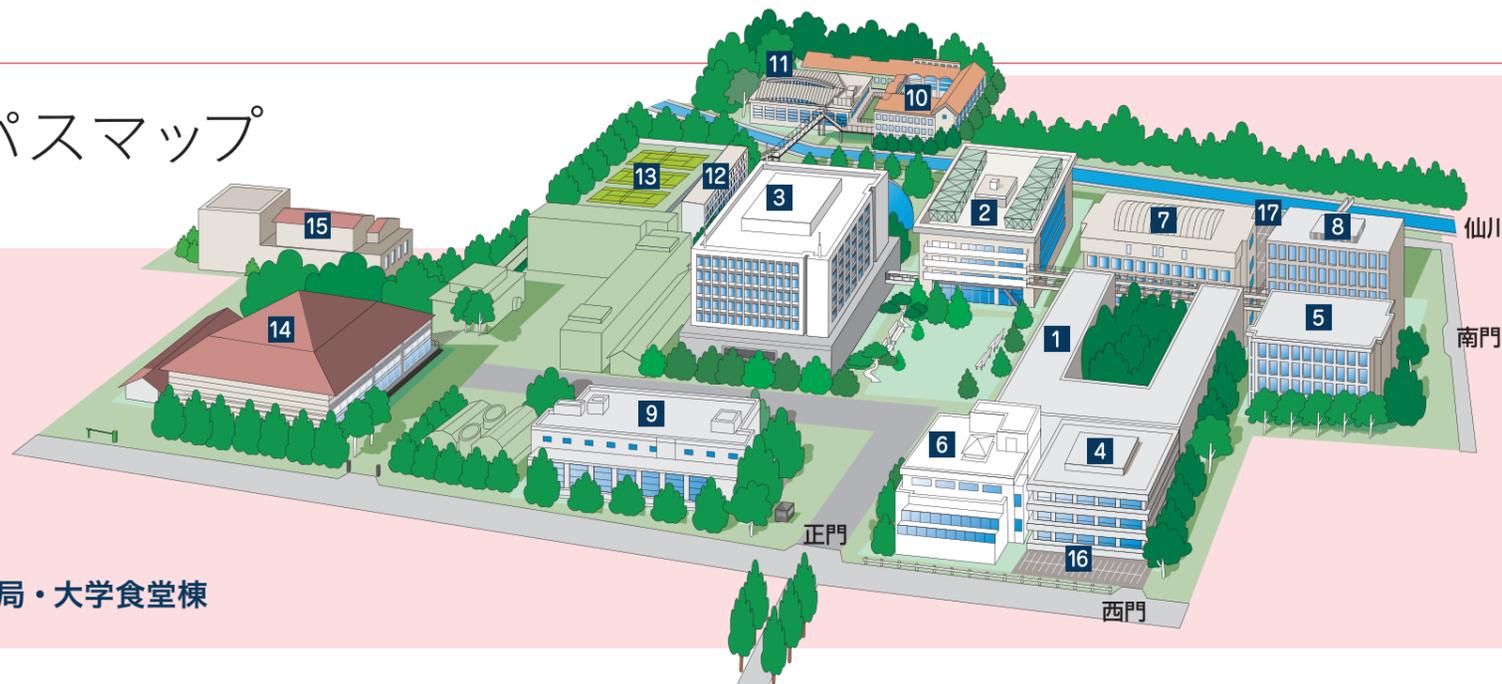
学生部長からのメッセージ

News & Information

大学施設紹介

成城大学キャンパスマップ

- 1 1号館
- 2 2号館
- 3 3号館
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 図書館
- 7 7号館
- 8 8号館
- 9 法人事務局・大学食堂棟



- 10 体連クラブハウス
- 11 トレーニングセンター
- 12 文連クラブハウス・大学道場
- 13 第1テニスコート
- 14 澤柳記念講堂
- 15 第1体育館
- 16 第1駐輪場
- 17 第2駐輪場

大学施設紹介

大学事務室を知ろう！

新入生の皆さんが卒業するまで利用する大学事務室です。業務内容や場所をしっかりと覚えておきましょう。

1 1号館 1階

学生部

学生生活全般、課外活動、健康管理等の担当窓口

■学生課：☎ 03-3482-9081

- ▶ 課外活動（学生自治活動）に関する事
- ▶ 学生証、通学（電車・バス等）証明書、自転車登録、学割証等に関する事
- ▶ 休学・復学・退学等に関する事
- ▶ 住所変更および身上異動（保証人変更・氏名変更等）に関する事
- ▶ 授業の欠席に関する事
- ▶ 授業・学校行事・課外活動・通学中等における事故・怪我に関する事（学校教育研究災害保険）
- ▶ 遺失物・拾得物に関する事
- ▶ 授業料等納付金の延納および分納等に関する事

■奨学金担当窓口：☎ 03-3482-9080

- ▶ 奨学金（給付・貸与）に関する事
- ▶ 教育ローンに関する事

■大学保健室：☎ 03-3482-9085

- ▶ 健康診断の実施
- ▶ 健康管理・健康相談（医師・看護師）
- ▶ 応急処置や要休養者への対応

キャリアセンター

キャリア形成、就職活動支援に関する担当窓口

■キャリアセンター：☎ 03-3482-9063

- ▶ キャリア形成、就職活動支援、資格取得に関する事（相談・ガイダンス等）
- ▶ 求人に関する事
- ▶ 資料室に関する事（キャリア関連資料の閲覧・貸出）
- ▶ 卒業年次生の進路登録に関する事

- ▶ インターンシップに関する事
- ▶ 就業力育成・認定プログラムに関する事

教務部

学生の教学に関する担当窓口

■教務課：☎ 03-3482-9045

- ▶ 授業に関する事
- ▶ 履修登録の受付、履修相談
- ▶ 学業成績に関する事
- ▶ 定期試験および定期試験に代わるレポートに関する事
- ▶ 卒業論文・卒業研究に関する事
- ▶ 転学部・転学科、卒業・修了延期に関する事
- ▶ 休講・補講、授業教室に関する事
- ▶ 履修の手引・シラバス・授業時間割に関する事
- ▶ 学籍および成績に係る各種証明書の発行に関する事
- ▶ 教職課程・学芸員課程に関する事
- ▶ 科目等履修生・聴講生・他学部聴講に関する事
- ▶ 学長賞懸賞論文に関する事

なんでも相談窓口

この窓口は、学生のみなさんが、どこに問い合わせをしたらよいか分からないことや、ちょっと困ったことがあった時に、気軽に立ち寄ってもらえるための場所です。

窓口の相談は、スタッフおよび大学カウンセラーが担当します。学習に関することや学生生活に関する事など、気軽にご相談ください。相談の内容によっては、どこでどのような支援を受けられるかなど、一緒に解決するお手伝いもします。

ぜひ、気軽にいらしてください。お待ちしております。

相談方法 予約制ではありませんので、窓口へ直接お越しください。「電話による相談」もお受けします。

※電話番号は4月に配布する「なんでも相談ダイヤルカード」でお知らせします。

2 2号館 2階

国際センター

学生の留学相談、学内の国際交流に関する担当窓口

■国際センター：☎ 03-3482-9020

- ▶ SIEP 成城国際教育プログラムについて
- ▶ 協定校との学生交換に関する事
- ▶ 短期および長期留学に関する事
- ▶ 外国人留学生に対する奨学金や在留手続きに関する事
- ▶ 学内で出来る国際交流に関する事
- ▶ 国際交流科目に関する事

4 4号館 1階

■学生相談室：☎ 03-3482-9086

- ▶ 学生相談（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談）
- ▶ 心理相談（臨床心理士・医師）
- ▶ 法律相談（弁護士）
- ▶ 心理・性格検査の実施

11 トレーニングセンター

■トレーニングセンター事務室：☎ 03-3482-5790

- ▶ 施設利用に関する事
- ▶ 利用者のサポートに関する事

教室番号の見方を知ろう！

教室番号は「号館番号」「階数」「部屋番号」の組み合わせにより3桁で表示されます。

Ex.) 731 : 7号館 3階の教室
302 : 3号館地下1階の教室 (0は地下)
53G : 5号館 3階の(ゼミ)教室

例外(大教室)

002 : 2号館地下1階 007 : 7号館 4階
003 : 3号館地下1階 008 : 8号館 4階

掲示板を必ず見よう！

大学からの学生に対する伝達・連絡は、「Campus Square for WEB」および1号館1階にある所定の掲示板で行います。毎日の登下校時には、必ず掲示を見る習慣をつけてください。

掲示したお知らせについては、周知されたものとして取り扱いますので、見落とし等により不利益を被らないよう注意してください。

オフィスアワーについて

講義に関する疑問や質問あるいは、進路、学生生活に関して教員に相談できるオフィスアワー制度を設けています。各教員のオフィスアワーは履修の手引もしくは各学部事務室で確認できます。予約が必要な場合もありますので、あらかじめ各学部事務室に問い合わせください。

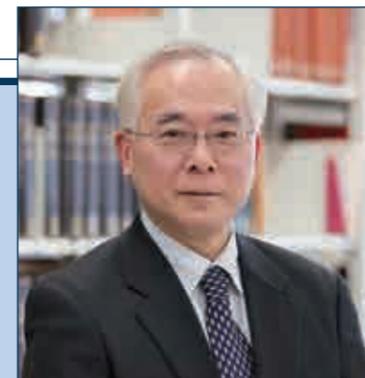
もちろん、オフィスアワー以外の時間帯でも質問・相談はできます。その際はあらかじめ予約を取っておいたほうがよいでしょう。



学長挨拶

立ち止まらずに

学長 戸部 順一



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。 成城大学は皆さんを心より歓迎します。

ひとは春の訪れを五感で知りますが、「春が近づいた」と私が覚えるのは、いよいよ大学生活を始める皆さんに一つ助言をと、パソコンに向かったときでしょうか。今年も「ご入学おめでとう」と恒例の祝いの言葉で挨拶文を打ち始めました。

「おめでとう」はそれを耳にする人の心を和ませ、またそれを口にする人の顔も明るくさせます。その言葉には達成に至るまでの努力への称賛、敬意が込められているからです。ですから、そう声をかけられた皆さんの顔はほころぶ。またそう声をかけた私

たちにしても、何かをやり遂げたのを見たなら、ともに喜びたい気持ちがありますから、自然と「おめでとう」を言うときには明るい顔になるのです。

ただ「おめでとう」の心地よさに酔いすぎると……。少々、大学の授業めいたお話をしましょう。古代ギリシアの詩人ホメロスの名前は聞いたことがあるでしょう。トロイ戦争を題材にした叙事詩『イリアス』『オデュッセイア』（以下、前者を *Il.* と、後者を *Od.* と表記）を作った詩人だと、暗記させられた記憶があるのではと思いますが、現在では *Il.* と *Od.* は別の詩人によるものというのが大方の見方で、それを裏付けるほどに両叙事詩の言葉遣いには微妙な違いのあることが指摘されています（このことを新

知識として頭に入れておいてください）。さて *Il.* がトロイ戦争の最中の出来事を歌っている詩である一方、*Od.* は戦争を終え故郷に帰るオデュッセウス（トロイ陥落に功績のあった英雄で、*Il.* にも登場します）の長い苦労を語る詩です。その *Od.* には、オデュッセウス一行がセイレーンたち（伝説では、美声で人を誘き寄せ、上陸した者を食い殺す魔女たち）の島の近くを船で通過するというくだりがあります（*Od.* 12巻）。帰国を助ける女神キルケーは、彼女たちの歌声を聞かずに船を進めるよう、オデュッセウスに忠告します。「上陸したら死が待っているから」と言うのです。船が島に近づくと「オデュッセウスよ、こちらに。トロイのことも承知している私たちの歌声を聞けば、誰もが楽しい気持ちになれる」と、キルケーの忠告を打ち消す歌が聞こえてきます。セイレーンはオデュッセウスを騙そうとして、そんな詞を歌っているのかもしれませんが、さて島に寄るのは死を意味するのか、それとも快適を？

ところで、8行から成る「セイレーンの歌」には偶然とは思えぬほどに偏った用語選択が認められる、との報告があります。すなわち *Il.* では複数回の使用例があるのだが *Od.* の中ではこの「セイレーンの歌」にしか出てこない言葉遣いが各行に散りばめられており、まるで *Od.* の作者はあえて *Il.* の作者の言葉遣いで「セイレーンの歌」の歌を作っている、少し想像力をたくましくするなら、*Il.* の作者がセイレーンに成りすまして *Od.* の世界に入り込み、自分の歌う世界である *Il.* の世界—それがセイレーンの島でしょう—にオデュッセウスを誘っているようにも思わせる仕掛けが施されているのです。

叙事詩を単なる娯楽作品ではなく、聴く者に意味のある教訓を伝える歌でもあるという前提に立ち、この仕掛けについて考えてみましょう：*Od.* の世界にいるオデュッセウスは難儀の中にあるが、かつて *Il.* の世界では知恵に富む英雄として輝いていた。オデュッセウスにしてみればセイレーン（=*Il.* の作者）の呼びかけに従い、あの世界に戻りたい気にもなる。しかし *Od.* の作者はキルケーの口を借りて「過去の輝きに拘泥し、明日への歩みを止めることは死んだこと」とオデュッセウスに諭す。「苦しくとも振り返らずに進め、それが人間だ」と、*Od.* の作者はこの仕掛けを通じて聴衆を鼓舞している……。こんな解釈が成り立つかもしれません。

大学生活という新たな世界に、皆さんは歩を進めます。「ご入学おめでとう」は確かに皆さんの獲得した誇るべき勲章です。しかし、それに満足しきって歩みを止めることは避けるべきだとの箴言が、古代の歌からも聞こえてきます。

大きいことであれ些細なことであれ「おめでとう」に値することを成し遂げたなら、次の「おめでとう」を求めて歩み続けてください。それが充実した生き方のような気がします。

戸部順一学長 プロフィール

とべ・じゅんいち
東京大学大学院人文科学研究科西洋古典学専攻、
博士課程単位取得満期退学。
専門分野は、西洋古典学。
成城大学文芸学部教授。
2016年4月より学長。





文芸学部長 村瀬 鋼

学部長からのメッセージ

「良い加減」を学ぶこと

新入生の皆さん、入学おめでとう。文芸学部関係者一同を代表して、心からお祝いを申し上げます。

さて、新しい世界に入っていくとき、ひとは多少とも緊張するものです。少しリラックスしましょう。目を閉じて、体を緩めて、息をゆっくり吸って、吐いて…。

成城大学は、「真善美」の理想の実現に向けて「懸命に生きる」ことを学ぶ場所です。それを思い起こすとき、私たち成城大学の人間は、思わず姿勢を正し、少し身を緊張させますが、新入生の皆さんにもまたそのような緊張感を持ってもらいたいと、私はたしかに思っています。

けれどもまた、成城大学はとつても「良い加減」なところでもあると、そう私は思っています。

「良い加減」というのには、悪い響きもありますね。けれども、「良い加減」というのは、とても良いこと、最善のことです。お風呂に入るとき、お湯が熱すぎれば火傷しますし、冷たすぎれば風邪をひきます。熱すぎも冷たすぎもしない、入る人のそのときの体調と状況に合った「ちょうど良い」ベストな「湯加減」というものがあります。

今日私は、こんなふうに言ってみたい気がします。成城大学は、あらゆることについて、この「良い加減」を「良い加減」に学ぶ「良い加減」な場所である、と。

似た言葉で「適当」という言葉がありますね。成城大学の一般入試を受けた人は、試験で「次のうちから最も適当なものを選び」という設問に出会ったと思います。「適当」なものを「適当」に選ぶ、それが正解なのです。

でも、「良い加減」や「適当」は、「良い加減に適当に」やればよいのだからというので、楽に達成できるように思い込むとすれば、それはとりあえず間違いです。

「良い加減」は、難しいです。ただだんに極端を目指して、例えばより高い数値を出せばいいだけなら、やるべきことは単純で、なるほど努力は必要でも、ある意味では楽だと言えます。でも、極端ではない中間の、「ちょうど良い

加減」は難しい。傷ついた人の体を両手で抱くとき、その抱擁は強すぎても弱すぎてもいけない。その人の苦しみを軽くするためのちょうど良い力加減を、私たちは探します。生きていくとき、私たちはつねにそんな「良い加減」を探り当てることを求められます。

その「良い加減」は、ただ即席で知識や情報を入手するだけで学ばれるものではありません。適当なお湯加減を日々の入浴のなかで知るように、傷ついた人を前にしての無力さのなかで人の心に辛うじて触れることを知るように、私たちはさまざまな「良い加減」を、自らの人生の時間をかけて、さまざまな経験を通して身をもって学び、身につけてはまた学び直します。ときには「加減」を間違えて、逸脱や失敗を繰り返しながら。

古代ギリシアの大哲学者アリストテレスは、人間の目指すべき「良いこと」として、「中ぐらいであること」を挙げ、それは「習慣」によって獲得されるものであると述べています。古代中国の大哲人孔子も、「中庸」こそが至上の徳であると言っていますが、これら先哲たちのアドバイスの趣旨も、要するに「良い加減」を身につけることが大切、ということだと言えます。

新入生の皆さん、これからの四年間、ぜひ「懸命」に、失敗を恐れず思いっきり、しかしまた「適当」に、「良い加減」に、じっくり時間をかけて、本当の「良い加減」を知ることが心掛けていてみてください。

入学おめでとう！

村瀬鋼学部長 プロフィール

むらせ・こう

東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程修了。博士(文学)。福岡大学人文学部助教授を経て、成城大学文芸学部教授。専門分野は、フランス哲学。2016年4月より文芸学部長に。



経済学部長 小宮路 雅博

学部長からのメッセージ

経済学部へようこそ

経済学部新入生の皆さん、入学おめでとうございます。経済学部教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。経済学部では、昨年度から丁度、新しいカリキュラムに切り替わったところです。皆さんは、この新カリキュラムで学ぶ2年目の経済学部生となります。新しい学びの体系の進展と共に皆さんを新入生として迎えることができ、大変うれしく思います。

さて、人生には幾つもの節目がありますが、若い皆さんにとっては、大学への入学はとりわけ大きな節目の一つでしょう。今、皆さんは新しい大学生活への大きな期待とそして少しの不安の中にあるものと思います。入学後は、各種のガイダンスが続き、すぐに授業が始まります。それぞれのガイダンスに出席して、必要な情報を得て、授業の開始に備えるなどすると良いでしょう。とりわけ、入学直後には、新しい仕組みや慣れない場面、新しい出会い、などさまざまなことさらに直面することと思います。受け身ではなく、積極的・能動的に対処して大学生活の良きスタートを切るようにしましょう。

皆さんには、入学して早々なのに少し苦言めいていますし、人によっては余計なこととも思いますが、「さあ、大学に入ったぞ。少しのんびりするか」などと言いつつ、流されるような無目的な日々を過ごしていくといったことのないように、ということ私のメッセージとしてお伝えしたいと思います。「人生、長いようで短い」と言いますが、そうであれば大学の4年間は尚更です。実際、卒業していくゼミ(私が担当しているゼミ)の4年生の皆さんは、毎年、「大学4年間、思った以上に速かった」というのが大方の感想です。大学生活のスタートの時点から、これからの4年間という時間の過ごし方・使い方をそれぞれなりに良いですから、なるべく意識するようにしましょう。

大学は基本的に学生それぞれの自主性・自律性が重んじられる場所ですし、大学生になると割と自由な時

間があります。そのため、残念ながら、大学生活の中で早々と「のんびりし過ぎ」とか「羽を伸ばし過ぎ」してしまう人がいないわけではありません。経済学部では、2年生から3年生になる時に進級の関門がありますので、あまり羽を伸ばしてサボって過ごしていると、3年生に進級できないということにもなりかねません。1年生、2年生の科目をそれなりに頑張って履修して確実に単位を取っていくようにしましょう。

大学生活の中で自主性・自律性が重んじられるという観点からすれば、それほど厳しいものでなくても良いので、規律を自分の中に持つことがとても重要となります。例えば、「授業には必ず出席する/遅刻はしない」「やるべきことはきちんとやる」「自分の大切な時間を無為に過ごさない/無駄に使わない」といったことです。皆さんの中には、そんなの言われるまでもないと思われる方もいるかもしれませんが、大学生として過ごす中で「あれ、最近自分はちょっとダメな感じがな」ということがあれば、ぜひ、自分の中の規律がどうなっているかを自問してみてください。

大学での4年間。過ぎてしまえばあつという間であるかもしれません。何となく過ぎてしまうのではなく、さまざまなことに積極的に取り組み、悔いの無い大学生活となるようにしましょう。そして、経済学部での4年間の中で、これからの人生を過ごしていく上での指針となる自分なりの志を見つけてください。

小宮路雅博学部長 プロフィール

こみやじ・まさひろ

早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。茨城大学人文学部教授を経て、成城大学経済学部教授。専門分野は、サービス・マーケティング、観光マーケティング。2017年4月より経済学部長に。

学部長からのメッセージ

学んで問う

法学部長 山本 輝之



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員は、皆さんを心より歓迎いたします。

さて、皆さん、高校と大学の根本的な違いは、何だと思いませんか。それは、皆さんが、高校までに行ってきたことは「勉強」であるのに対し、大学では「学問」を行うということです。高校までは、大まかにいえば、先生が授業で話すことを正確に理解し、覚えるということではほぼ足りていたのではないのでしょうか。しかし、大学ではそうはいきません。大学で皆さんが行わなければならないことは、学問です。それは、「学んで問う」と書きます。それでは、「学ぶ」とは、いったいどのようなことをいうのでしょうか。それは、これまで先達によって積み重ねられてきた研究・思索の成果を正確に理解し、自らの考えの形成の仕方を身に付けるということです。大学の授業は、まず、このことの修得を目指していますが、それはきっかけにすぎません。皆さんには、それを単に聞くだけでなく、自ら図書館、資料室などに足を運んで、先達の著した研究・思索の成果を探し、それを読み理解するという作業も併せて必要です。

しかし、学問を行うということは、学ぶだけでは足りません。学んだことを踏まえて、さらにそれを「問う」ということが必要です。他の学問分野と同じように、皆さんがこれから学ぶ法学、政治学のそれにおいても、日々新しい問題が生起され、それに伴って新しい考えも生まれています。そこで、先達による考えは、現在でも本当に妥当するのでしょうか、別の考え方ができるのではないだろうか、という具合に、既存の知識にとらわれることなく、自分の頭で徹底的に考え、それを問うてみる、それに基づいて自分の考えを形成するという知的活動が必要なのです。

成城大学法学部は、皆さんがこのような知的活動を行うのに相応しい環境を整えています。まず第1に、

素晴らしい教員、職員がいっぱいということ。教員の方々、授業などを通して皆さんに学問的刺激を与え続ける豊かな学識と教育的熱心さを兼ね備えている先生ばかりです。また、職員の方々、皆さんの知的活動を様々な面で親身になってサポートしていただきます。第2に、将来皆さんがどのような分野に進んでもよいように、基礎から学び応用力を培う教育カリキュラムを用意しています。1、2年次では、基本を重視し、あらゆる職種に対応することができる基礎力の獲得を目指し、それに基づいて、3、4年次には、学生の自主性を尊重し、将来の進路に応じて選択することができる多様な科目群を設けています。第3に、時代に先駆けた充実した資料室を備えているということです。2016年に法学資料室を全面的にリニューアルし、その拡充を図るとともに、新たな法情報提供環境とアクティブエリアをはじめとする学習研究環境を設けました。あとは、皆さんがいかにか「学問」を行うかだけです。

われわれ教職員は、皆さんが、このような環境を存分に活用して学問を行い、4年後に、「成城大学法学部に入って本当に良かった」、「成城大学法学部で学べたことを誇りに思う」という気持ちを抱いて卒業されることを願っています。それに向けて、われわれ教職員も力を尽くしますので、皆さんも初心を忘れずがんばってください。

山本輝之学部長 プロフィール

やまもと・てるゆき

上智大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。名古屋大学大学院法学研究科教授、明治学院大学法学部教授を経て、2011年より成城大学法学部教授。専門分野は、刑事法、医事法。2018年4月より法学部長。

学部長からのメッセージ

イノベーションと
大学での学び

社会イノベーション学部長 伊地知 寛博



社会イノベーション学部への新入学生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

本学部の名称に含まれる「イノベーション」について、入学早々、1年次の必修科目である「イノベーション概論」においてしっかりと学びますが、すでに皆さんも、日々の生活を通じて、あるいはオープン・キャンパスやミニ講義等を通じて耳にしていることと思います。

イノベーションを実現するためにはさまざまな要素が関わってきますが、それらの中でも新しい技術を用いたり、既存の技術であってもそれらを新たに組み合わせたりすることによって、従来は存在しなかった新たなプロダクト（製品又はサービス）を生み出して潜在的ユーザに届けることができます。しかし、その技術も、当初は有望と見られていたものが、1年や2年が経ってみるとさほどではなく、また別の技術を用いることが探られているということがよくあります。これは、その技術を用いてインパクトのあるプロダクトにどのように結びつけることができるかどうを見極めるために、とても速く試行錯誤が繰り返されているからです。この試行錯誤ということがとても重要です。

大学での学びも同じようなことがいえるでしょう。たとえば、ゼミナールでは、皆さんが講義を通じて学んだことを踏まえて、また自ら読んだり調べたり分析したりしたに基づいて、発表をすることがよくあります。その内容について予め何か唯一の正解が定まっているようなものではありません。教員やゼミの仲間からは、良かった点だけでなく、さらに改善すると良いと考えられる点についても指摘等を受けるはず。それらを自身においてさらに活かしていくことができます。つまり、このような発表を繰り返す行からこそ次につながっていきます。自らの学びにおいても、臆せず試行錯誤を多く速く繰り返すことを試みてほしいと思います。

ところで、技術に話を戻すと、当初有望とされていて開発が進められたけれども活用されなかったものはどうなるでしょう。そこでの取り組みは、別の条件が揃った後の機会

に活かされることが少なくありません。たとえば、最近の音声認識や自然言語処理の背後にある機械学習ですが、この技術も以前からずっと研究や開発がなされてきているものです。これと同様に、皆さんも大学での試行錯誤を繰り返した学びを通じて自身の能力の基盤を形成し、それがいつか後になって活かされてくることがおおいにあるものと考えています。

さて、社会イノベーション学部では、学部における学びの特長をより広く知ってもらいたいと考えて、ごく最近、動画を作成して公開しました。ここに示すQRコードから、または[未来を切り開く 社会イノベーション学部]で検索してサイトにアクセスして見てみてください。皆さんがこれからこのキャンパスの中で学ぶ姿を、映っている上級生を通じて垣間見ることができるのではないかと思います。それから、昨年(2017年)春の『Campus SEIJO』No.248(新入生歓迎特集号)のp.9にも、新入生に向けたメッセージを書いています。そちらもあわせて読んでみてください。

どうか本学の学修環境を存分に活かして、皆さんが、10年後、20年後、30年後、40年後…に社会において貢献することができるよう、自ら道を切り拓き鍛錬してほしいと願っています。



伊地知寛博学部長 プロフィール

いじち・ともひろ

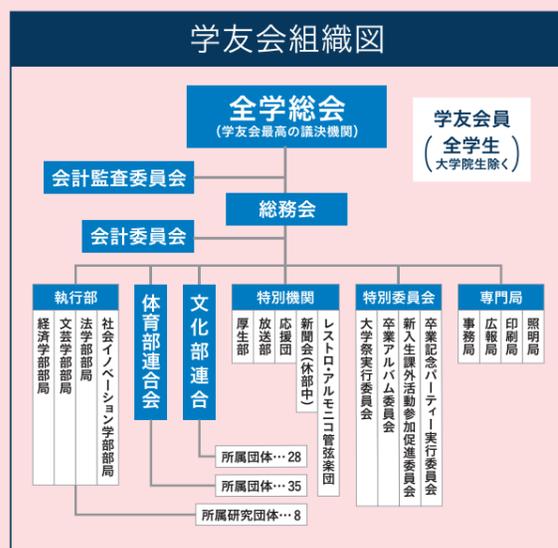
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了。博士(学術)。文部科学省科学技術政策研究所主任研究官、一橋大学イノベーション研究センター助教授等を経て、成城大学社会イノベーション学部教授。専門分野は、科学技術・イノベーション政策論。2017年4月より社会イノベーション学部長に。

課外活動紹介

大学には、正課授業の他に個人の才能や趣味に適した分野で、自主的に参加できる各種の課外活動があります。新入生のみなさんも、是非、積極的に課外活動・自治活動（学友会活動）に参加し、より豊かで潤いのある学生生活を送られることを期待しています。

学友会を知ろう！

「学友会」とは何か？ 成城大学生全員により構成されており、「学生の学生による学生のための自治組織」です。「学友会」は、学生生活や課外活動等で生じる諸問題など様々な事柄について検討したり、学生生活を充実させるためのイベント企画や運営などを行っています。みなさんは入学したその時から「学友会員」となっています。



特別委員会・特別機関・研究団体・専門局一覧

- ◆ 特別委員会
 - 大学祭実行委員会・卒業アルバム委員会・新入生課外活動参加促進委員会・卒業記念パーティー実行委員会
- ◆ 特別機関
 - 厚生部・放送部・応援団リーダー部 / チアリーダー部・レストロ・アルモニコ管弦楽団・新聞会(休部中)
- ◆ 研究団体
 - 会計学研究会・民俗学研究会・ミステリークラブ・歴史研究会・マスコミ研究会・司法試験勉強会・政治経済研究会・ヨーロッパ文化研究会
- ◆ 専門局
 - 事務局・広報局・印刷局・照明局

成城大学 課外活動



課外活動紹介

文化部連合を知ろう！

文化部連合とは、成城大学で活動している「文化的活動の促進のために組織された団体(部活・同好会・愛好会)」が構成している連合組織です。本学には音楽や映画など、多岐にわたる28の文化的活動団体があり、それぞれの分野で日々活動に励んでいます。その執行機関として文化部連合本部があり、本部では団体の取りまとめや活動支援などを担っています。

日頃の活動の成果を発表します

- ① 六月祭:
毎年6月～7月に、学内施設や学外施設等を利用して団体毎に展示や発表を行います。
 - ② 大学祭:
毎年11月に開催される大学祭で団体毎に出展や発表を行います。
- これらのイベントでは、複数の団体が、それぞれの強みを生かしたコラボレーション企画を行うこともあります。展示作品や発表の雰囲気ぜひご覧ください。



文化部連合所属団体一覧

- アメリカ民謡研究会
- 映画研究部
- 映像シナリオ研究会
- 演劇部
- 合唱団
- 華道部
- ギター部
- 狂言研究会
- 軽音楽部
- 広告研究会
- 古美術鑑賞会
- サイクリングクラブ
- 茶道部
- 写真部
- 将棋同好会
- 商業英語研究部
- 書道部
- 生物部
- ダンス部
- 釣部
- 天文研究会
- 美術部
- 文芸部
- 成城ボランティア部
- 漫画研究会
- 落語研究会
- 旅行部
- E. S. S (休部中)

成城大学 課外活動

課外活動紹介

体育部連合会を知ろう!

体育部連合会とは、成城大学で活動している「各体育的活動の促進のために組織された団体」が構成している連合組織です。本学には35の体育的活動団体があり、それぞれの競技、種目で日々活動に励んでいます。その執行機関として体育部連合会本部があり、本部では団体のとりまとめや活動支援などを担っています。



体育部連合会所属団体一覧

- 合気道部
- サッカー部
- 女子バスケットボール部
- ライフセービング部
- 男子アイスホッケー部
- 女子サッカー部
- バドミントン部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 柔道部
- 男子バレーボール部
- 男子ラクロス部
- 空手道部
- 水泳部
- 女子バレーボール部
- 女子ラクロス部
- 弓道部
- スキー部
- 男子ホッケー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- 漕艇部
- 女子ホッケー部
- ワンダーフォーゲル部
- 硬式庭球部 (男子・女子)
- 卓球部
- 洋弓部
- 自動車部 (休部中)
- 硬式野球部
- 女子タッチフットボール部
- ヨット部
- 男子ゴルフ部
- 馬術部
- 女子ゴルフ部
- 男子バスケットボール部

成城大学 課外活動

課外活動紹介

新入生への課外活動参加に関する勧誘について

成城大学では、これまで紹介した学友会所属公認団体と、学友会所属ではない届出サークルに限り、学内での新入生に対する勧誘を認めており、運営は学生の自治団体である、「新入生課外活動参加推進委員会」が行っています。大学HPや各団体のHP、SNSなどで興味を持った団体があれば、実際に部員の話聞くことができます。

課外活動団体による勧誘の様子



★勧誘期間
4/2 (月) 入学式終了後 ~ 4/30 (月) まで

★対象団体
学友会所属公認団体 (サークルの勧誘は5月頃)

悪質な勧誘に注意しよう!

本学の学友会所属団体を装った、外部団体からの悪質な勧誘を受ける可能性があります。電話番号等の個人情報の取り扱いには、十分注意してください。また、不審な人物を見かけたら1号館1階学生課へ報告してください。

年間行事紹介

イベントに参加しよう!

成城大学では、年間を通じて様々なイベントが開催されています。イベントには学生主催のもの、大学主催のものがあります。これらに積極的に参加して様々な体験をすることで、学生生活を有意義なものにすることができます。

HP このアイコンが付いているイベントは、「成城大学 ○○ (イベント名)」で検索すると大学HPの記事を確認できます。

4月

各種オリエンテーション・ガイダンス

新 入生にとって非常に大切な行事です。日程に従い、必ず出席してください。

5月 **HP**

「学長杯」伊勢原スポーツデイ

成 城学園伊勢原総合グラウンドを会場として開催されるスポーツイベントです。軟式野球、サッカー、ソフトボールの3種目があり、クラスの仲間、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。

6月～7月

六月祭

文 化部連合所属団体による展示や発表会。学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。

10月 **HP**

四大学運動競技大会

学 習院大学・成蹊大学・武蔵大学・成城大学の四大学でスポーツを通じた各校の交流を目的として毎年秋に開催されている伝統ある運動競技大会。

体育会所属団体による「正式種目」、一般学生による「一般種目」に分かれており、各部門の各種目で対抗戦を行い、総合得点を競い合います。

11月 **HP**

文化祭

成 城学園文化祭として幼稚園から大学まで学園全体が一体となって開催される一大イベント。中でも、大学祭は11月1日～3日まで開催され、様々な展示・発表・公演・イベント等が催されています。各団体が日頃の活動・研究の成果を発表するだけでなく、成城商店街など地域社会との交流を深める催しも多数企画されています。

12月 **HP**

成城レガッタ

埼 玉県戸田オリンピックポートコースで開催される手漕ぎのボートレース。4人のクルー(漕手)と1人のコックス(舵手)の計5人1組でボートに乗り、300Mの距離を競い合います。種目は男子/女子/混合の3部門あり、クラスの仲間、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。

12月

十二月祭

文 化部連合所属団体による展示や発表会。六月祭と同様に、学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。



新入生の保証人(父母等)の方々へ

新入生が大学生活を
よりよく送るために

ご子女のご入学、心よりお祝い申し上げます。新入生は今日この日から、本学学生として新しい学生生活の第一歩を始められました。

さて、大学では高等学校の授業のように決められた科目を同じクラスで受講するのではなく、学生自身が

授業科目を選択して、計画的に履修していくことになります。自らの意思で勉強・研究に取り組むことができるという特徴をもっている反面、自由に流され、目的を見失ってしまうことも少なくありません。そのため新しい環境に適應できず、様々な悩みをもつ学生も増えて

きております。

こうした見地から新入生の保証人(父母等)の皆様、大学生活のことでぜひ知っておいていただきたいことを書き述べておきます。

✔ 授業の出席について

成城大学学則第23条第1項で定めるとおり、授業科目の出席すべき時間数の3分の1以上欠席した学生は、当該授業科目修了の認定を受けることができません。また、授業に遅れてくる学生がいますが、1時限目は9時から始まりますので、朝早く起きる習慣をつけてください。

✔ 学生への伝達について

本学では、学生へのすべての伝達を Campus Square for WEB (学生生活情報のインターネット閲覧・登録システム) のお知らせ掲示板と大学構内の掲示板によって行っております。



いったん掲示したお知らせは周知されたものとして取り扱いますので、必ず Campus Square for Web (掲示板) と大学構内の掲示板を確認する習慣をつけてください。



✔ 電話呼び出し・照会について

本学では、個人情報保護の観点から、学外からの学生の住所・電話番号等、個人情報に関する問い合わせには一切応じておりません。また、高校時代とは違い、保証人・家族・友人からの電話による呼び出しにも対応できません。あらかじめご了承ください。

✔ 一人暮らしについて

地方から上京される学生は慣れない一人暮らしとなりますので、生活環境の変化や解放感などから、様々な問題が生じやすくなります。十分な睡眠や食事のバランスなどを配慮した規則正しい生活を送るためには、かなりの自制心が必要とされます。



行動範囲が拡大され、自由奔放な行動をとるようになり、その結果、体調を崩したり、授業を欠席しがちになる学生もしばしば見られます。

日頃から連絡を取り合い、生活状況をよく把握していただくことが望ましいと思われま

✔ 奨学金制度について

奨学金制度の多くが、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的としています。



日本学生支援機構の奨学金をはじめ、給付、貸与の別に関わらず、学生本人への援助を目的としており、出願説明会や、その後の手続きなどを他者が行うことはできず、全て学生本人が自覚をもって行う必要があります。掲示板等を定期的を確認し、情報の見落としがないよう注意してください。

✔ 身の回りに潜むトラブルについて

近年、学生を取り巻く環境は大きく変化しています。ネット社会となった現在の大学生は情報化社会の中で育ってきており、eメールはもちろんのこと、FacebookやTwitter、LINEなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)がコミュニケーションツールとして完全に定着した世代です。大学生活においても、LINEによって入学前から友達づくりを始めるなど、これまでの人間関係づくりとは大きく様変わりしています。

さらにはこれらによって、個としての自分に向き合う時間や機会が少なくなっていることや、様々な、そして大きなトラブルに巻き込まれるケースが増えていることも間違いありません。

また、DVD販売などを目的とした「マルチ商法」や、ゴスペルサークルの名をかたっての「宗教勧誘」、さらには世間を騒がす「危険ドラッグ」や「未成年飲酒」など、大学生に降りかかるトラブルは後を絶たない状況です。

これらをまとめ、その対処法などを記載した「キャンパスマナーブック」を大学HPにて掲載しています。また、希望者には学生課窓口(1号館1階)でもお渡しいたしますので、ぜひ活用してください。



✔ 就職・キャリア形成について

大学生活が始まったばかりの新入生が、卒業後の進路をイメージすることは難しいかもしれませんが、働くことや、仕事について少しずつ考え、大学生活で何に取り組むかを悩み、行動していくことは、自身の人生を豊かにしていくためにも重要なことです。

キャリアセンターでは、こうした将来について考えるための授業やプログラムを1年次から多数用意しています。正課(授業)においては「就業力育成・認定プログラム」を、正課外プログラムとしては「澤柳塾」を実施しています。いずれも、自身のこれからの人生について考えたり、充実した学生生活を送るためにはどうしたら良いかを具体的に学ぶことができるプログラムです。

こうしたプログラムを通じて、自身の「キャリア」を形成していくことを1年生のときから取り組んでいただければと思います。



✔ 留学と国際交流について

成城大学では、国際理解と視野を広げるための多様な機会を提供しています。短期語学研修や交換・認定留学、学内での国際交流の相談は、国際センター窓口にて受け付けます。

留学では、チャレンジをしようという態度と自ら問題解決を行う努力が必要となります。学生本人がよく考え、当事者意識をもって、留学の相談や準備をすることが望まれます。

施設紹介

食堂・売店 information

各食堂施設では手ごろな値段のメニューを提供しています。
 食べ比べながらお気に入りを見つけてみてください。
 また学生喫茶室では、『100円朝食』(数量限定)も行っていますので、ぜひご利用ください。

学生喫茶室 (大学食堂棟 B1F)



▲ から揚げ定食

100円朝食
 メニュー紹介
 (日替わり)



▲ 鶏雑炊



▲ 明太フランスパン



▲ パニーニ

SEIJO×10 (大学食堂棟 1F)



学生ラウンジ (7号館 B1F)



学生食堂 (大学食堂棟 1F)



▲ 冷やしぶっかけ塩ラーメン



▲ 成城オムライス

土曜日は学生ラウンジと SEIJO×10 が営業
 ※学生喫茶室、学生食堂は土曜営業なし。

PickUp

施設 information

本学では学生生活を有意義に過ごしてもらうための施設が充実しています。
 新入生みなさんも各施設を多いに活用して、充実した学生生活を過ごしてください。



Lounge #08 (8号館 1F)



図書館アクティブラーニングエリア



トレーニングセンター

開講期間中
 平日 10:00 ~ 20:00
 土曜日 10:00 ~ 17:30
 (いずれも受付は終了時間の 30 分前まで)
 日曜日休館
 ※臨時の閉館日等は、掲示や HP 等で
 お知らせします。



学生部長からのメッセージ

最初の一步を踏み出そう

経済学部 教授
増川 純一



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活でどんな学びや人との出会いが待っているのか、期待と不安が入り交じった気持ちでいることでしょう。

大学生活の4年間は、皆さんの学費を負担して下さる方々の期待のこもったプレゼントです。どんな4年間を過ごすのかは自分次第です。それぞれの所属する学部や学科で決められた卒業の要件を満たす勉強は最低限する必要がありますが、それだけで過ごすのはもったいない貴重な時間です。授業をきっかけとして、専門をさらに深く究めることももちろんありだし、学生の自治組織である学友会の活動を通して大学と深くかかわることも有意義だと思います。またサークル活動などで、スポーツや音楽などを仲間といっしょに楽しむことも学生生活を充実したものにすることでしょう。

皆さん方の中には、幸運にも、身近な人や書物との出会いから、将来の目標をすでに見つけ、大学の4年間はそのため知識や視野、資格を身につける準備期間であると捉えてスタートを切っている人もいます。そういう人に対して、教員の持っている知識や経験、図書館などの大学の施設あるいは留学制度は、直接的に大いに役に立つことになるでしょう。しかしながら、私のこれまでの教員生活の観察からは、高校生の年頃の早い時期から将来に対するビジョンをはっきりと持っている人はそんなに多くありません。多くの人は、就職活動を始めなければならない時期の直前になって、自分がそれまで大学で学んだこと、どのように社会に入っていくか(つまり職業選択)のつじつま合わせを大急ぎで行わなくてはならない危機に直面しています。多くの学生が早い時期から職業選択に関して不安や焦りを持っているにもかかわらず、自

分の適性を模索し職業を探している段階で就職活動を迎えてしまっているようです。

「またあとで、また明日、つもりをもって今の自分」

何となくダイエットの標語のような感じもしくはありませんが、これを聞いて耳が痛い人は多いのではないのでしょうか。もちろんわたしもその一人です。この言葉は、今は亡くなった父母の部屋の日めくりカレンダーに書かれていたものです。ネットで調べてみると、薬師寺執事の太谷徹英さんの言葉として紹介しており、薬師寺発行の日めくりカレンダーにあったらしいということがわかりました。今もそうであるかは知りません。

大学生活はモラトリアム(就職までの猶予期間)と呼ばれることがあります。そこで何を求めるのかは各自が決めます。学問、スポーツ、芸術、どのような活動でも、自分を納得させることができる作業をどれだけ積み上げられるかが肝心なのではないでしょうか。例えば、大学で行う学問は、成績を上げるためというより、それを通じて自分の中で次々に生じる疑問に誠実に答え続ける作業なのではないでしょうか。英会話でも、専門分野の分厚い教科書の読破でも、プログラミングの勉強でもなんでも良いので、自分がこれだと思った方向にすぐにでも最初の一步を歩んでみましょう。軌道修正はいつでもできます。自戒を込めて書きますが、「思い立ったが吉日」です。卒業時に、つもりつもったその時の自分に責任を取るの、他の誰でもなく自分なのだということを覚えておきましょう。皆さん方一人ひとり、それぞれに多様で実り多い大学生生活をエンジョイされることを願ってやみません。

Campus Seijo News & Information

S 各種お知らせ

■在学生向け履修の手引等の配付について

日時 4月2日(月)～5日(木) 10:00～16:00
場所 7号館1階712教室
※学生証を持参してください。 【教務部】

■履修相談(在学生・新入生)

日時 4月2日(月)13:00～16:00
4月3日(火)～6日(金) 10:00～16:00
4月7日(土)10:00～13:00
場所 7号館3階731教室
※学生証・履修の手引を持参してください。 【教務部】

■新入生対象教職課程ガイダンスについて

日時 4月9日(月)・10日(火) 12:20～12:50
場所 3号館2階322教室
対象 2年次に教職課程登録を検討している経済・文芸(国文・英文・文化史・ヨーロッパ文化学科)・法学部の1年次生
※学生証・履修の手引を持参してください。

2年次に教職課程登録を検討している1年次生を対象として、教職課程の概要、1年次に履修できる科目等に関する説明を行います。教育職員免許取得を希望している1年次生は、上記の日程のいずれかに必ず出席する必要があります。なお、このガイダンスに出席していない場合、1年次配当の教職に関する科目を1年次に履修科目登録上限単位数を超えて履修することはできません。 【教務部】

■特設会場での教科書販売について

日時 4月6日(金)～27日(金) 8:30～16:30 ※平日のみ
場所 3号館1階学生ホール

上記期間中、授業で使用する教科書の特設会場にて販売します。期間終了後は、学内売店 SEIJO×10 で購入することができます。 【教務部】

■第39回 学長賞懸賞論文の募集について

学長賞懸賞論文は、本学学生の勉学意欲を振起すことを目的として、1980年度から始められました。審査の結果、優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞を贈り、賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の応募要領(論題、応募規定、論文提出期間等)については、6月初旬にあらためて掲示板およびホームページにて発表します。 【教務部】

■2018年度「成城 学びの森」コミュニティ・カレッジ春夏講座のお知らせ

本学では、「成城 学びの森」の名称で、本学教員を講師として、一般の方を対象とした生涯学習支援事業を行っています。学生のみならずには自分の学部以外の先生の講義を受けるチャンスとして、1講座3人まで無料で受講できるようにしております。また、ご家族の皆様も本学で講義を受講できるこの機会をぜひご利用ください。

申込期間:4月3日(火)～4月21日(土)

開講期間:5月7日(月)～7月14日(土)

※詳しくは、本学ホームページ「成城 学びの森」のサイトをご覧ください

【企画調整室/「成城 学びの森」事務局】

■国際センターガイダンス

希望者対象。成城ハンドブックを持参してください。
日程 4月6日(金) 経済学部・法学部 対象
4月7日(土) 文芸学部・社会イノベーション学部 対象
会場 3号館1階311教室 個別相談 312教室
※在学生はどちらでも参加できます。

SIEP(成城国際教育プログラム)説明会	10:00～11:50
マレーシア短期海外研修(海外インターンシップ)説明会	12:00～12:50
カナダ短期語学研修説明会	13:00～13:50
アイルランド短期語学研修説明会	14:00～14:50
毎日が英会話説明会	15:00～16:00

【国際センター】

■日本学生支援機構の奨学金について

日本学生支援機構は、総合的な学生支援を目的として設立された独立行政法人であり、日本学生支援機構奨学金は、大学生が利用する最も代表的な奨学金制度です。

奨学金出願希望者は必ず下記の説明会に出席してください。説明会に出席しない場合、奨学金の出願はできません。

●奨学金出願者説明会: 説明会に出席しないと出願できません。
※学部生は①②のどちらかに出席してください。

対象:学部生	①日時:4月10日(火)18時～ 場所:3号館地下1階 003教室 ②日時:4月12日(木)18時～ 場所:3号館地下1階 003教室
対象:大学院生	日時:4月13日(金)18時～ 場所:3号館1階 312教室

●予約進学者説明会: 説明会に出席しないと貸与が受けられません。

対象:予約進学者…高等学校在学時に、奨学生採用候補者に決定している者。
日時:4月9日(月)18時～/場所:3号館地下1階 003教室

【学生部】

■定期健康診断(問い合わせは保健室)

日程 4月12日(木)～18日(水)(土日除く5日間)
午前の部:男子…9:30～12:30
午後の部:女子…14:00～17:00

場所 澤柳記念講堂ロビー
項目 身長・体重測定、尿検査、胸部レントゲン撮影、内科診察
【学生部】

■自転車通学を希望する場合(年度ごとに申請)

学生課で登録申請を行い「登録ステッカー」を受け取り、自転車本体の目立つ位置に貼付してください。

自転車は指定された場所に、駐輪してください。年度更新していなかったり、所定の場所以外に駐輪した場合は撤去します。

なお、バス、電車での通学との併用はできません。定期券を購入している学生には「登録ステッカー」は発行いたしません。 【学生部】

Campus Seijo News & Information

■「Campus Square for WEB
(キャンパス・スクエア・フォー・ウェブ)」について

Campus Square for WEB は、学生生活に必要な情報等をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。
スマートフォンからも専用画面で閲覧可能です。

●アクセスURL (アドレス)

<https://cs.seijo.ac.jp/>

大学ホームページ → 在学生の方へ → Campus Square for WEB からアクセスできます。

●Campus Square for WEB で利用できる情報

- 学生情報参照：大学に登録されているあなたの情報です
- Web 履修登録 (および Web 予備申請)
- 履修状況参照 (履修登録完了後から)
- 単位計算
- 個人成績参照
- 定期試験時間割照会
- お知らせ掲示板：インターネット版お知らせ掲示です
- 休講・補講・教室変更参照 (履修登録完了後から)
- シラバス・履修の手引参照

※ 全てのお知らせが掲載されるとは限りません。必ず学内掲示板も確認するようにしてください。

☞ 担任・学生委員について

本学では、担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでも気軽に相談してください。

また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

2018年度 1年生担当 (担任・学生委員等)

■経済学部

学科	担当
経済学科	小宮路 雅 博 (学部長)
	中 田 真佐男 (経済学科主任)
経営学科	小宮路 雅 博 (学部長)
	上 田 晋 一 (経営学科主任)

■文芸学部

学科	担任
国文学科	池 田 一 彦
英文学科	木 下 誠
芸術学科	赤 塚 健太郎
文化史学科	及 川 祥 平
コミュニケーション学科	南 保 輔
ヨーロッパ文化学科	高 名 康 文

■法学部

学生委員
西 土 彰一郎
足 立 友 子
亀 岡 倫 史
太 田 晋
永 井 典 克

■社会イノベーション学部

学生委員
加 藤 敦 宣
川 村 晶 彦
磯 野 達 也
平 井 康 大
南 山 浩 二

☞ 2018年度学事・行事暦

■前期

- 4月 1日 (日) ~ 新生入オリエンテーション・各種ガイダンス、フレッシュマン・キャンプ等 7日 (土) まで
- 2日 (月) 入学式
履修登録 (Web 予備申請) 開始 9時
履修の手引等配付 5日 (木) まで
- 7日 (土) 履修登録 (Web 予備申請) 期限 13時
履修登録 (Web 予備申請) 結果発表 18時 (予定)
- 9日 (月) 前期開講
履修登録 (本登録) 開始 8時 30分
※ 13日 18時から14日 8時 30分までの期間は、
抽選処理のため、履修登録はできない
- 12日 (木) ~ 定期健康診断 18日 (水) まで (土日除く)
- 18日 (水) 履修登録 (本登録) 期限 (3・4年、大学院) 18時
- 19日 (木) 履修登録 (本登録) 期限 (1・2年) 18時
- 30日 (月) 【振替休日】 授業実施
- 5月 5日 (土) 創立記念日
- 12日 (土) 振替授業実施 (木曜日の授業を実施)
- 27日 (日) 伊勢原スポーツデイ
- 6月 2日 (土) 振替授業実施 (金曜日の授業を実施)
- 22日 (金) 全学総会 ※ 5限のみ休講 (大学院は除く)
- 7月 16日 (月) 【海の日】 授業実施
- 21日 (土) 前期授業終了
- 23日 (月) ~ 学期末定期試験 31日 (火) まで
- 8月 1日 (水) ~ 夏季休業 9月 20日 (木) まで

■後期

- 9月 21日 (金) 後期開講
- 24日 (月) 【振替休日】 授業実施
- 10月 8日 (月) 【体育の日】 授業実施
- 19日 (金) ~ 第69回四大学運動競技大会 21日 (日) まで
今年度は学習院大学にて開催
※ 19日 (金)、20日 (土) は休講
- 27日 (土) 振替授業実施 (木曜日の授業を行う)
- 11月 1日 (木) 文化祭準備のため休講
- 2日 (金) 学園文化祭—大学祭—
・3日 (土)
- 4日 (日) 文化祭後片付け
- 23日 (金) 【勤労感謝の日】 授業実施
- 12月 9日 (日) 成城レガッタ
- 22日 (土) 振替授業実施 (金曜日の授業を行う)
- 24日 (月) 【振替休日】 授業実施
- 25日 (火) ~ 冬季休業 1月 6日 (日) まで
- 1月 7日 (月) 授業開始
- 18日 (金) 後期授業終了
- 21日 (月) ~ 学年末定期試験 31日 (木) まで
- 3月 23日 (土) 学位記授与式

☞ トレーニングセンター通信

ご入学おめでとうございます。トレーニングセンター (通称：トレセン) は校舎のそばを流れる仙川の向こう、赤い屋根の建物です。ここではフィットネスクラブさながらの設備が揃っています。最新マシンも導入されているジムにサウナ・ジャグジーバス付の温水プール、体育館にはダンスに最適な大きい鏡まで。運動できる服装さえあればトレーニングからバスケットや卓球、バドミントンなどのスポーツが楽しめます。

人が元気に生活していくために不可欠なのが、「食事」「休息」そして適度な「運動」です。スポーツクラブに通うのは大変でも、学園内の施設であれば授業の合間や少しの空き時間に通うことができます。大学生は自由に使える時間が増

えます。在学期間をどう過ごすか、空き時間を何をするかも自分で決められます。その空き時間の選択肢の一つとして「友達と体を動かす」というのも入れてみてください。スポーツやダンスはもちろんのこと、ダイエットや体づくりも友達と一緒にやるだけで楽しく続けられ、とても良い思い出になると思います。

今まで運動したけど効果があまり出なかったという人でも、トレセンには専門のスタッフが常駐しているので、いつでも気軽に相談に来てください。

スタッフ一同、みなさんの元気な顔が見られるのを楽しみにしています。



学 生諸君や教職員が大学へ通うのに、ほとんどの方が利用するのが小田急線であろう。新宿から小田原、片瀬江ノ島、唐木田へと通じる三路線を持つ当私鉄電車は、1927 (昭和2) 年に、まずは小田原線が開通。これは、1925 (大正14) 年の成城学園 (成城第2中学校) の牛込から当地・砧村喜多見台への移転の2年後のことで、実は本学園は小田急線ができる前から、この地にあったのである。移転当初は京王電鉄の烏山駅が最寄り駅だったというから、さぞ通学に苦労したことであろう。

開 通当初、成城学園前駅の改札口は北口のみで、現在では当たり前のように存在する南口はなかった。南口は、こちら側にあったP.C.L. (Photo Chemical Laboratory: のちの東宝、昭和7年完成) の撮影所で働く俳優やスタッフのため、当社の創業者の一人である植村泰二氏が多くの費用を負担し、成城学園や商店街の寄付と合わせて作ったものである。

駅 から4分ほど歩けば学校に着くというのは、大変恵まれた環境にあるということだが、この3月の新ダイヤ運行により、ますます通いやすくなったという方もおられよう。ところが、利用駅や路線、時間帯によっては、かえって乗車できる電車が減ってしまったという不幸な方もいらっしゃると思う。

便 利になった反面、不便を強いられる人がいるという矛盾は、何にでも当てはまるようで、シラバスが紙媒体で配布されなくなったことで不満を感じる方がいるかと思えば、ポータルサイト等の普及により、直接目で確認できる掲示が少なくなったり、学生同士はもちろん、教職員と学生間のコミュニケーションも希薄になった、というマイナス面を指摘する方もいらっしゃる。

新 入生諸君には、自分が学生時代に何を学ぶべきか、何を成し遂げたいかを、シラバスやガイドブックから自分の目でしっかりと読み取ることが求められる。何が自分に合っているか、自分が何を突きつめたいかを見つけるのは、なかなか難しいことであるが、皆さんにはこの4年間で、何かに徹底的にこだわる姿勢・習慣を身につけていただきたい。それこそが今後の人生を左右する、実は最も大切なことなのだから――。

ち なみに、学生諸君が購入できる通学定期券は、自宅の最寄り駅から成城学園前までの「最短もしくは最安の」ルートに限られる。従って、アルバイトのためとか、就職活動のため別ルートで購入したいという希望には応じかねるので、あらかじめご承知おきたい。

(S・T記)